

滋賀大学環境総合研究センター

# 研究年報

第 10 卷第 1 号 (通巻第 10 号) 2013 年 8 月

Science for Environment &amp; Sustainable Society

---

巻頭言	琵琶湖に見守られて	中野 桂	1
記念特集	環境総合研究センター 10 周年に当たって		
	Sustainable Society の研究所をめざして	宮本 憲一	3
	環境研究の近況報告	山崎古都子	5
	湖沼流域政策研究を通して振り返る	中村 正久	8
	ハートウエア・プロジェクトに込めた想い	梅澤 直樹	11
特集論文	環境保全活動における住民参加の可能性		
	地域史から読み解く地域の環境再生 —滋賀県守山市の調査より—	柏尾 珠紀	13
	地域環境保全ボランティア活動の対外閉鎖性と活動の非継承性 ：「行政奉仕の習慣」と「相互鑑賞欲求」の動機づけからの考察	小野 奈々	27
	公共施設による自然体験活動を通じた地域活動の創始の可能性 ：「工夫の余地」という行事設計	田代 優秋 ほか	37
論文			
	香川県大島の療養所に展開した自治の痕跡 —療養所空間における〈生環境〉をめぐる実証研究—	阿部 安成 石居 人也	49
	The Significance of Regenerated Nitrogenous Compounds as a Nitrogen Source for Phytoplankton in the Whitewater of the Pre-Amazonian Floodplain, Brazil	三田村緒佐武 ほか	69
	UNESCO-UNEP 国際環境教育プログラム (IEEP) の活動の全体像	市川 智史	83
研究ノート			
	平成 22 年度における滋賀県の水道水中のアルミニウム濃度	原 博一	101
報告・資料			
	プロジェクト研究活動		
	① 琵琶湖の水質の実態と河川流入水の影響に関する研究		
	② 療養所空間における〈生環境〉をめぐる実証研究		
	③ 滋賀の食文化の継承に関する研究～滋賀の伝統食をとり入れた食事バランスガイドを用いて～		
	④ 近代における琵琶湖周辺河川における自然災害の実態と地域社会の対応		

---